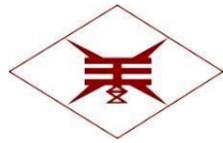


# 丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～



令和5年6月30日

## 「丘の上の学舎の勇者たち」

副校長 西山幸代

今年は例年よりも早い梅雨入りと連日の雨でちょっとテンションが下がり気味、そんな方も多いかもかもしれません。そのような憂鬱な気分を吹き飛ばしてくれたのが、5月28日(日)開催、障害者スポーツ大会に出場した生徒たちです。陸上競技とボッチャ競技に出場した生徒8名の大健闘は、私たちに晴れやかな気持ちと清々しさを届けてくれました。昨年度は応援が制限されていたため、競技場に行けなかった職員も今年度は応援に駆けつけることができ、保護者の皆様と共にエールを送りました。

陸上競技では、スラロームに島村さん、ビーンバッグ投げに川畑さん、ソフトボール投げに林田さんが出場し、全員が金メダルを獲得しました。高等部の生徒2名は、10月28日(土)～30日(月)に鹿児島で開催される全国障害者スポーツ大会に出場予定です。本番まで練習を重ね、自信をもって当日を迎えられるよう私たちも応援したいと思います。

一方、ボッチャ競技に出場した木村さん、中島さん、高谷さん、松竹さん、宮本さんの5名も強豪相手に一歩も引かぬ試合を繰り広げました。今回、個人戦で臨んだトーナメント戦の準決勝の壁は厚かったのですが、ボッチャ同好会で腕を磨き戦略を練って戦う姿は、とても堂々としていて勇者そのものでした。

今回は、スポーツ大会に出場したみなさんを中心に紹介しましたが、実は在籍している122名全員が丘の上の学舎で個性を輝かせる勇者たちです。今年度も様々な学習や体験を通して好奇心を育て可能性を広げてくれることでしょう。一人一人の笑顔が梅雨空を吹き飛ばし、夏の青空を運んでくるのもすぐそこです。

保護者のみなさま、日頃から学校運営にご協力いただきありがとうございます。今年度も学校と家庭の両輪を大切にしていきますので、何かお気付きの点がございましたら遠慮なくお知らせください。



## 入賞おめでとう!



### 【障害者スポーツ大会】

- ◆陸上競技 スラローム 1位 高等部1年 島村 玲央
- ◆陸上競技 ビーンバッグ投げ 1位 高等部1年 川畑 光希
- ◆陸上競技 ソフトボール投げ 1位 中学部1年 林田 蒼真



### 【長崎新聞ジュニア俳壇・歌壇】

- ◆俳壇 佳作 高等部2年 森山 大誠、嬉野 菜菜、上山 神駕
- ◆歌壇 秀逸 高等部2年 森山 大誠 高等部3年 宮本 昊
- 佳作 高等部2年 嬉野 菜菜、上山 神駕、野中 麻央
- 高等部3年 秋山 大輝、高谷 英行、松竹 陸斗

自分が見たもの、感じたこと、思ったことをどんどん詩歌の調べにのせて世界を広げていきましょう。

## 令和5年度第1回学校評議員会報告

今年度の学校評議員の方々です。

- 松浦 恵子 様 (県立こども医療福祉センター)
- 井川 稲子 様 (みさかえの園むつみの家)
- 大塩 信義 様 (町内会)
- 中野 理恵 様 (元本校PTA副会長)
- 佐藤 凡人 様 (元特別支援学校長)

6月27日(火) 令和5年度第1回学校評議員会を開催しました。評議員の皆様には、全員出席いただき、教育環境、学校運営や児童生徒の指導について、大変貴重なご意見、ご助言をうかがうことができました。ありがとうございました。いただいた助言等を少しご紹介します。



## 今日の輝き face - ピカピカの1年生 -



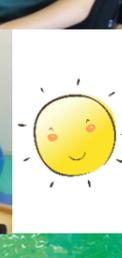
😊 輝き face は4月に入学した小学部1年生です。😊

音楽をたくさん聴いて、楽しく身体を動かして、きれいな音色の楽器を鳴らしたよ。リズムにのって、ノリノリで太鼓もたたいたよ。

初めて粘土に触れてびっくり!?ちぎったり、伸ばしたりしながらいろいろな形が完成。先生と一緒に桜を作ってご機嫌です。大きなトランポリンで揺れるのがとても面白かったよ。気分はサイコー!!

本の音読を頑張りました。「くまさんまたね。」であいさつのことばが上手になったとほめられてうれしかった。あじさいや七夕かざりなど季節の風物をみんなで作るのも楽しかったなあ。

ボウリングや水あそびでもたくさん笑ったよ。「わっははー」



## 高等部3年社会体験実習

5月30日(火)～6月9日(金)の9日間で社会体験実習を行いました。

企業での実習は、「沖ワークウェル」「スタッフサービス・クラウドワーク」の2社と在宅就労を意識したリモート実習を行いました。音声システムやWebカメラで企業担当者の方から指示を出してもらい、エクセルやワードを使った事務作業に取り組みました。作成したデータはメールで送信し報告を行う中、疑問点についても担当者に尋ねるなどして正確に課題に取り組むことができました。

福祉事業所での実習では、音楽療法やレクリエーション、創作活動などの他にも、入浴支援や送迎支援などを体験する生徒も多く、卒業後の生活を意識した実習に取り組むことができました。

高等部3年での実習ということで全員がこれまで以上に進路を近くに感じた実習となりました。各々が立てた個人目標をいかに達成できたかを実習報告会で発表しますので保護者のみなさまご期待ください。



□一人一人に合った指導をしてくださっていることが分かります。医療的ケア児も増えていきますが、今後もよろしくお願ひします。

■学校は子供を中心にととても尊重されている。人権が尊重されているなど思いました。

□特別支援教育は教育の原点であると思ひます。この学校があることを誇らしく思ひます。先生方の専門性は黒柱で大切です。

■各教室にカレンダーが貼ってあります。その日を知るには大切なことだす。しかし月曆については、先生方も曖昧なのではないでしょうか。専門性ととも基本的なものにも触れて教えるといいのではないのでしょうか。

□学部によっては、教室の掲示物が多く感じました。子供の中には目の前にたくさんのものがあると集中できない子供もいると思ひます。

■将来の進路希望実現に向けて進路研修会を行うなど、保護者に早めに意識してもらい進路指導の充実に向けた工夫をしていただければと思ひます。